

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 6 年 10 月 2 日(2024.10.2)

【公開番号】特開 2023-48009(P2023-48009A)  
【公開日】令和 5 年 4 月 6 日(2023.4.6)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-064  
【出願番号】特願 2021-157240(P2021-157240)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/66(2023.01)

H 0 4 N 23/40(2023.01)

G 0 3 B 17/18(2021.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232030

H 0 4 N 5/225000

G 0 3 B 17/18 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 9 月 24 日(2024.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画を記録可能な撮像装置であって、

前記動画の記録を開始する所定の指示を受けたことを発光及び / 又は音声により通知する通知手段と、

前記所定の指示を受ける前に撮影した動画を一時的に保存し、前記所定の指示を受けたことに応じて前記一時的に保存した動画を記録媒体に記録するプレ記録機能が有効な状態で、前記所定の指示を受けた場合には、前記通知手段による前記所定の指示を受けたことを通知する発光及び / 又は音声出力を実行しないように制御する制御手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記プレ記録機能が無効な状態で前記所定の指示を受けた場合には前記通知手段による発光及び / 又は音声出力を実行して前記所定の指示を受けたことを通知するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、ユーザ操作に応じて前記プレ記録機能を有効又は無効に設定することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記プレ記録機能による動画の保存中ではない場合に遠隔操作により前記所定の指示を受けた場合には前記通知手段による発光及び / 又は音声出力を実行し、前記プレ記録機能による動画の保存中に遠隔操作により前記所定の指示を受けた場合には前記通知手段による発光及び / 又は音声出力を実行しないように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記プレ記録機能が有効な状態で遠隔操作以外の操作により前記所定の指示を受けた場合に前記通知手段による発光及び / 又は音声出力を実行しないように制

10

20

30

40

50

御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記プレ記録機能が有効な状態であるか無効な状態であるかにかかわらず、前記所定の指示を受けて前記動画の記録を開始する場合に所定の情報を通知することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記所定の情報は、動画の記録可能時間であることを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

記録する動画を表示する表示手段をさらに有し、

10

前記制御手段は、前記プレ記録機能が有効な状態では、前記記録媒体に記録可能なデータ容量から動画の記録可能時間を求め、前記動画の記録可能時間から前記プレ記録機能により保存される動画の記録時間を減算した時間を前記動画の記録可能時間として前記表示手段に表示することを特徴とする請求項 7 に記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記通知手段は、前記動画の記録を開始する所定の指示を受けたことを、前記撮像装置の前面に設けられた発光部の発光により通知することを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 10】

動画の記録を開始する所定の指示を受けたことを発光及び / 又は音声により通知する通知手段を備える撮像装置の制御方法であって、

20

前記所定の指示を受ける前に撮影した動画を一時的に保存し、前記所定の指示を受けたことに応じて前記一時的に保存した動画を記録媒体に記録するプレ記録機能が有効な状態で、前記所定の指示を受けた場合には、前記通知手段による前記所定の指示を受けたことを通知する発光及び / 又は音声出力を実行しないように制御するステップを有することを特徴とする制御方法。

【請求項 11】

コンピュータを、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載された撮像装置の制御手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明は、動画を記録可能な撮像装置であって、前記動画の記録を開始する所定の指示を受けたことを発光及び / 又は音声により通知する通知手段と、前記所定の指示を受ける前に撮影した動画を一時的に保存し、前記所定の指示を受けたことに応じて前記一時的に保存した動画を記録媒体に記録するプレ記録機能が有効な状態で、前記所定の指示を受けた場合には、前記通知手段による前記所定の指示を受けたことを通知する発光及び / 又は音声出力を実行しないように制御する制御手段と、を有する。

40